



総合教育センターだより

Be Connected



センターマスコット センタ君

平成25年8月19日(月)
第53号(通算第136号)
京都府総合教育センター
TEL：075-612-3266

ユニバーサルデザイン授業

授業づくりに特別支援教育の視点を加味し、発達障害等のある子どもが学びやすいように授業を改善する。結果的にすべての子どもたちにわかりやすい授業になる。

すべての児童生徒が、楽しく「わかる・できる」を目指して工夫するユニバーサルデザインの授業のポイントを紹介します。詳しい内容は総合教育センター作成の冊子「ユニバーサルデザイン授業」で御覧いただけます。(センターホームページからダウンロードできます。)

アセスメント

学級アセスメント

気になる児童生徒のアセスメント

すべての児童生徒がわかる授業を展開するには、まずは学級全体のアセスメントが必要です。

- ・学級の児童生徒間の関係
- ・授業中の様子
- ・話し合い活動の様子
- ・学級のルールは身に付いているか

等についてチェックリストを用いたり、エピソードを集めたりしてアセスメントを行きましょう。

※アセスメントとは個人や集団の状態像を理解し、必要な支援を考えたり、将来の行動を予測したり、支援の成果を調べることです。



教師の発問・指示は、指導の基礎の重要なポイントです。授業において何を学ばせるのかということと密接に関わっています。

教師に注目しやすい状況をつくったり、視覚的に示したりする等の工夫が必要です。気になる児童生徒も含めて、**教師に注目させてから発問・指示**をすることは**重要な指導スキル**です。

「短く、はっきり、語尾まで言い切る、適切な声の大きさ・速さ等」と聞き手の児童生徒を意識した発問・指示の出し方を工夫しましょう。

授業づくり

授業への参加

内容の理解

指導の基礎

授業を支える環境

物理的な環境

人間関係づくり

暴力的・差別的な言葉づかいのない安心で安全な学級の中で授業が受けられるという基盤があって、児童生徒は自分の考えを伝えたり、自分の考えで問題に取り組むことができます。

ペアやグループ学習等で、児童生徒同士が学習内容を確認し合ったり、話し合ったりする場面を通して、すべての児童生徒が学習に参加できる状況を設定しましょう。

また、「**エンカウンター**」や「**ライフスキル教育**」等を活用してお互いが認め合う学級づくりをめざしましょう。

※エンカウンターとは児童生徒の人間関係づくりを進める活動のことで、

※ライフスキル教育とは日常生活の中で出会う様々な問題に、創造的でしかも効果のある対処が自分でできる能力を高める教育のことで、



総合教育センターでは、この**ライフスキル教育**を学校教育に取り入れるためのワークショップの開催 [10月19日(土)・26日(土)]を予定しています。また、センター出前講座でも、「ユニバーサルデザイン授業(UD授業)の活用」を実施しています。 問い合わせ：特別支援教育部 TEL：075(612)2953

講座報告



「今を生きる子どものこころ 講座 -非行・いじめ・対人関係の課題に 起因する問題行動とその心理-」

7月26日(金)

総合教育センター



京都教育大学の本間友巳教授の講義から、非行やいじめ問題の変遷とその構造、いじめが生じやすい学級の人間関係等の知見をもとに、問題解決に向けた教職員の気づきや関わりについて学びました。

感想 いじめの未然防止や早期発見・早期対応の重要性について改めて重く受け止めることができた。

初任者・新規採用者研修共通 「京の伝統文化体験」

7月25日(木)、7月26日(金) 京都伝統工芸大学校
7月29日(月)、7月30日(火)

「ふるさと京都」への理解と愛情を深める講義・工芸作品の制作体験を通して、教育現場で生かすための実践的指導力を高める初任者・新規採用者研修を実施しました。



感想 今は何でも買える時代だが、自分で作り出す喜びや温かさを味わうことがとても大切だと思った。子どもたちに体験させるとき、その奥深さを教えられるようにまず私が大切にしていきたい。

小学校「授業づくり」 講座音楽科II

7月29日(月) 北部研修所

総合教育センター後野文雄チーフアドバイザーの講義から、脳機能の視点による児童の「つながる力」を生かす指導の在り方について学びました。また、兵庫教育大学大学院河邊昭子准教授の講義から児童の豊かな情操の育成をめざす授業づくりの工夫について学びました。



特別支援教育〈発展〉 「行動障害のある子どもの理解と対応」講座 -応用行動分析に基づく具体的対応-

7月29日(月) 総合教育センター

行動コーチングアカデミー奥田健次代表の講義から、発達障害のある子どもの特性と行動障害への具体的な対応について学びました。特に不応状態にある子どもへの行動連鎖や機能分析の技法



等による対応について学びました。

人権教育講座I(北部)

7月9日(火) 北部研修所

松村淳子京都府こども政策監の講義から児童虐待をめぐる現状や対応について学びました。

感想 虐待されている子どもの事例に胸が痛くなった。身体虐待やネグレクトが発見しやすいのに対して性的虐待の発見の難しさが分かった。教職員は子どもの普段の様子を気をつけて観察し丁寧に接することが大事であると感じた。



これは使える！

～センター作成冊子紹介～

読める！書ける！

読み書きに困難のある子どもを指導・支援されている先生方をはじめ、すべての先生方や保護者の方々が、「読み書きで困っている子ども」を理解し、支援するためのガイドブックとして活用してください。

※本冊子はセンターHPからダウンロードできます。



人材育成支援室より お薦めの一冊

京都女子大学教授 西尾久美子 著
(10年経験者研修「共通」講座Ⅲの講師)

舞妓の言葉

京都花街、人育ての極意

東洋経済新報社

10代半ばの少女たちを舞妓さんという「おもてなし」産業のプロフェッショナルに育成できる秘密は？また、お座敷で阿吽(あうん)の呼吸でチームプレーができる力を伸ばすには？



その答えのヒントは、伝統文化や人材育成の仕組みとともに、置屋のお母さんや先輩舞妓さんたちからかけられる成長に合わせたそして意欲を引き出す「言葉の力」にあるのです。この書物には、どの世界にも通用する人育ての極意が書かれています。学校力・教師力向上のためにも、是非ご一読を！！(T・H)